



Kitsuki Shigikai
Dayori

きつき市議会だより

令和 6 年 8 月 15 日発行



お盆といえば赤く色付いたほおずき（山香町）

「おおいたのほおずき」は全国シェアの4割以上を誇ります

2024

8

NO.73

令和6年度一般会計補正予算

4億901万6千円を追加
補正後の予算は184億8,901万6千円

補正予算の主な事業

新型コロナウイルス感染症予防接種委託費 8,563万3千円
(国の補助が終了したため)

おおいた園芸産地づくり支援事業補助金 1,458万5千円
(園芸品目に係る施設の資産継承に対する補助金)

改修工事請負費 931万5千円
(山香庁舎の高圧受電設備)

解体工事請負費 547万2千円
(旧給食センターの部分解体工事)

母親の妊娠前後の体力低下や育児不安、メンタルヘルスの悪化を予防する対策事業 478万2千円

令和6年 第2回定例会

6月議会の概要

会期は6月5日から6月26日までの22日間。令和6年度一般会計及び特別会計補正予算議案3件、条例改正議案等10件が上程され、審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。また、議員提出議案2件を可決し閉会しました。

主 な 議 案

条 例

使用料改定に伴う関係条例の整備

(公共施設の使用料について、算定根拠を明確化し、統一した基準により各施設の使用料を改定するもの)

杵築市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

(放課後児童支援員の人材確保のため、資格要件を緩和するなど、所要の改正を行うもの)

杵築市農業集落排水施設条例及び杵築市公共下水道条例の一部改正

(下水道事業を将来にわたって安定的に運営していくため、杵築市上下水道事業審議会の答申を踏まえ、使用料を改定するなど、所要の改正を行うもの)

議員発議

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための政府予算に係る意見書

2024年大分県最低賃金の改正等に関する意見書

議決結果表

※案件名は、一部省略し掲載しています。

番号	案 件 名	採決結果
〔市長提出議案〕		
30	令和6年度杵築市一般会計補正予算（第2号）	可決
31	令和6年度杵築市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第1号）	可決
32	使用料改定に伴う関係条例の整備について	可決
33	杵築市税特別措置条例の一部改正について	可決
34	杵築市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
35	杵築市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
36	杵築市平尾台住宅団地污水处理場条例の一部改正について	可決
37	杵築市農業集落排水施設条例及び杵築市公共下水道条例の一部改正について	可決
38	杵築市農業集落排水事業分担金徴収条例及び杵築市特定環境保全公共下水道事業分担金徴収条例の一部改正について	可決
39	杵築市公共下水道区域外流入分担金の徴収に関する条例の制定について	可決
40	杵築市過疎地域持続的発展計画の変更について	可決
41	市道の路線認定について	可決
〔市長追加提出議案〕		
42	令和6年度杵築市一般会計補正予算（第3号）	可決
43	工事請負契約の締結について	可決
〔議員提出議案〕		
1	ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、政府予算に係る意見書	可決
2	2024年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書	可決
〔付議事件〕		
閉会中各委員会の継続審査について		可決
議員派遣について		可決

議案の賛否一覧表

※議案等に対して、「賛成」か「反対」の意見が分かれたものを掲載しています。

議案 番号	議 案 等 名	結果	表決数 賛成：反対	議員名（議席番号順）																	
				1 真鍋 公博	2 酒井 健太	3 船尾 はるな	4 多田 忍	5 工藤 壮一郎	6 坂本 哲知	7 阿部 素也	8 田原 祐二	9 泥谷 修	10 田中 正治	11 二宮 健太郎	12 小野 義美	13 藤本 治郎	14 岩尾 育郎	15 加来 喬	16 渡辺 雄爾	17 小春 稔	18 堀 典義
議案 第32号	使用料改定に伴う関係条例の整備について	可決	16対1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/
議案 第37号	杵築市農業集落排水施設条例及び杵築市公共下水道条例の一部改正について	可決	16対1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/

○[賛成] ×[反対] 欠[欠席] 一[退席] 議長は除く

一般質問 Q & A



一般質問の
動画を公開
しています



スマートフォン
やタブレットで
QRコードを読み
取ると一般質問
の動画をご覧い
ただけます。
(杵築市議会
YouTubeチャンネル)

令和6年第2回市議会定例会では、6月13日・14日・17日の3日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、13人の議員が諸問題について質問をしました。

(一般質問した議員が原稿を作成し、基本的にその原稿を尊重して編集しています。)



こはる
小春
みづる
稔議員

農政問題について

議員 大分県農業産出額は九州で最下位の1,245億円(令和4年度)と低迷している。杵築市の産出額は。

農林水産課長 令和2年度が70億9千万円、3年度が73億2千万円、4年度が73億7千万円と微増している。

議員 県が目指す大規模な園芸団地構想が杵築市にもあるのか。

農林水産課長 先月、県の農林水産部農業成長産業化推進室から、県下市町村のトップをきって大規模園芸団地に取り組む意義・メリットなどについて説明があり、意見交換を行った。本市の大規模園芸団地づくりの構想は、今後設置予定の推進体制において構成する関係団体と協議し、方向性を決定していく。

議員 石山ダム、鍋倉ダムの畑地の受益面積は97haあるが、その中で不耕作地はどの程度あるのか。

農業委員会事務局長 委員会が

行っている毎年一回のうちの利用状況についての調査から、石山ダム5.3ha、鍋倉ダム15.2ha合わせて20.5haとなっている。

議員 鍋倉ダムの受益地は畑地かんがい施設が整備されているが、有効利用による園芸団地の計画をしようか。

農林水産課長 ダムからの管路が整備済みの奈狩江地域の畑は園芸団地に適していると思われ、県では1か所10ha規模の園芸団地をイメージしていることから、まとまった農地が確保できれば候補地の一つとして考えられる。

議員 全市的な園芸団地構想に基づく、農業情報カルテを作るべきではないか。

農林水産課長 地権者の情報などを調査、集約し、見える化した農地情報を得ることは事業推進上、重要であると考えている。県では市町村と連携・協力し農地情報カルテの作成と併せ、規模拡大や園芸団地参入に関する意向アンケートも行う予定と聞いている。





おの よしみ
小野 義美議員

不登校児童・生徒対応について

議員 不登校の規定は、

学校教育課長 年間30日以上欠席した児童生徒で、病気や経済的理由は除く。

議員 市内の不登校児童生徒は。

学校教育課長 令和3年度小中学校合計で49人、4年度で58人、5年度で53人と増加傾向にある。

議員 不登校の要因は。

学校教育課長 本人に係る状況65%、学校に係る状況20%、家庭に係る状況10%である。

議員 どのような対応をしているか。

学校教育課長 未然防止と初期対応に重点を置き、登校支援員やスクールソーシャルワーカーの増員等を行い、多様な対応をしている。

旧山香農業高校跡地の現状について

議員 市が利用している物件は。

農林水産課長 薬用植物栽培の実証園として56aの畑地がある。

危機管理課長 旧柔剣道場を災害用備蓄物資保管場として利用

している。

議員 大分県は未利用の物件についてどう考えているのか。

企画財政課長 県は日出総合高校の活用を最優先とし、未利用物件については杵築市の意向を確認しながら検討すること。

議員 杵築市として雇用を生むような誘致は。

企画財政課長 雇用促進につながる活用を企業や地元団体、県と協議を行う。

山香温泉風の郷の運営状況について

議員 リニューアルオープンからの利用者数は。

商工観光課長 3月31日から5月末で総数20,505人。温泉16,364人、レストラン3,712人、宿泊4,29人となっている。

議員 5月の連休中の状況は。

商工観光課長 温泉で4,854人、レストラン1,020人、宿泊1,68人で1日800人以上の利用があった。

議員 今後の取組みは。

商工観光課長 レストラン、宿泊を柱として八角堂や小研修室を活用したセミナーやシンポジウムの開催など広く地域活性化への周知等を行う。



KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



いわお いくお
岩尾 育郎議員

大規模災害時の水・トイレ対策について

議員

今回の能登半島地震でトイレトレーラーと水の再生ブラントの有効性が確認されたが、各自自治体がそれぞれ必要数を確保するのは、導入経費や保管場所の観点から現実的ではない。そこで、市長には、県市長会・九州市長会・全国市長会を通じて国に働きかけ、国の責任において全ての自治体に整備するよう要望してもらいたい。

市長 大規模災害で避難所生活が長期化すると、衛生状態を悪化させずに良いレベルで維持するというのが絶対必要なことだと考える。国土強靱化の一つの方策として、国に要望していきたい。

立石小学校区から山香小学校に通学する児童のスクールバスの利用について

議員

立石小学校が2年後に統合されるが、立石小学校区から山香小学校に通う児童につい

て、来年度以降スクールバスを利用できるようにできないか。

教育総務課長

令和6年度からスクールバスの利用開始に向けて準備しており、向野コースもしくは山浦コースに同乗して利用できるよう申請書の提出を求めている。

山香工房「夢楽房」について

議員 夢楽房を2年後に廃止するという話はどうなっているのか。

社会教育課長 市の公共施設等マネジメント推進委員会で協議する。

議員 廃止を白紙の状態で協議するということか。

社会教育課長 担当課として再考すべきではないかということとで、それをふまえて協議したい。

議員 そもそも議決案件である事柄を、議会に事前の説明もなく、当事者に話をしたということが大きな問題だ。議会軽視のものではないか。

副市長 この件については、今後議会と十分協議していきたい。





あべ もとゆき
阿部 素也議員

第3次総合計画について

議員 来年度からその先10年間に於けるまちづくりの指針となる第3次総合計画だが、その策定において、市民参画はどのように果たされるのか。

企画財政課長 市民2,000人を対象にアンケート調査を実施した。次に区長、関係団体代表、企業代表など市民32名の方に計6回、ワークショップ形式で協議してもらった。また、杵築高校の1年生200人に市のテーマについて探求してもらった。今後は、計画案ができたらパブリックコメントで、多くの皆様の意見をもらうこととしている。

議員 山香病院の建替えや、市民ホール建設の要望はどのようにな反映されるのか。

企画財政課長 計画は全体で共有する目標や施策を示し、その達成に向けての基本的な指針となるものである。個別施設の具体的な記載は行っていない。

議員 計画に何も記載されていないものが、計画と同時に付いてくる実施計画書に載っているものなのか疑問である。今後を注視していく。

杵築市総合運動場について

議員 杵築高校の部活動として利用されているがその使用料はどうなっているのか。

文化・スポーツ振興課長 陸上部については、ほぼ毎日利用しており、1時間220円である。

議員 使用料をとらずに支援してあげてはどうか。杵築高校の要望を聴いているのか。

文化・スポーツ振興課長 顧問の先生から随時伺っている。

議員 要望を積極的に吸い上げて、提案してほしい。

その他の質問

- ・現地決済型ふるさと納税について
- ・下水道接続率の向上と、浄化槽補助金の活用について
- ・森林環境譲与税のジビエ活用について



KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



さかもと かつらぎ
坂本 哲知議員

道路愛護報奨金について

議員 制度の見直し後の概要は。

建設課長 令和6年度からは、高齢化率が50%以上の行政区の要件を廃止し全行政区において一定の要件を満たす市道を報奨金の交付対象とした。要件として①幅員2.5m以上、②延長50m以上、③居住2世帯以上の通行が見込める、④舗装されている。また、除草作業を行う道路延長1m当り8円、年2回を上限に報奨金を交付する。

議員 1m当りの単価設定が、15円から8円に下がった根拠は。

建設課長 大分県が行っている県道や河川の除草作業に対する支援が8円であることを参考にした。

議員 単価を戻してほしいという意見が多いので、今年度の申請状況、予算の実績を参考に、来年度の単価をどうするのか検討してもらいたい。

不燃物ゴミについて

議員 4月からゴミ収集内容が変わったのか。

市民生活課長 令和6年度から、燃やすゴミ、燃やさないゴミ、資源ゴミ、粗大ゴミの分別に加え、新たに「危険ゴミ」の分類を設定した。「危険ゴミ」に指定しているのは、電池類、ライター、蛍光灯である。

議員 変更内容と理由、市民への周知は。

市民生活課長 ゴミの収集を行う事業者と処理場で働く職員の安全確保のため。具体的に、ライターと電池類のうち、リチウム電池については火災の可能性がある。このため、あえて別分類とした。周知については、3月の市報及び区長回覧、市公式ウェブサイトを、ケーブルテレビ等で周知した。

議員 小さいゴミ袋を新しく作るか、危険ゴミ専用の箱を各庁舎やコミュニティセンターに設置してはどうか。

市民生活課長 小さなゴミ袋を導入に向けて検討中。危険ゴミ専用の箱については難しいと考えている。

その他の質問

- ・地域おこし協力隊について
- ・認知症高齢者対策について
- ・消滅可能性自治体への対策について





たはら ゆうじ
田原 祐二議員

市の存続について

議員 「消滅可能性自治体」からの脱却に向けての施策は。

企画財政課長 子育て支援施策として、妊娠・出産時に各5万円を支給、保育料の完全無償化、小中学校入学時に各5万円の商品券の配布、高校生までの医療費無償化など様々な事業を実施している。今年度から、移住・定住施策として、新婚生活に伴う家賃や引っ越し費用の補助、転入者へのマイカー取得の補助、創業支援に対する補助及び市内就職を希望するUターン、Iターン、Jターン者や学生などへの市独自の企業説明会開催などを新たに実施している。尚、策定中の第3次総合計画や総合戦略では人口減少対策を重点的に進めていく。

議員 「消滅可能性自治体」からの脱却等、状況が改善している自治体を参考にしているのか。

企画財政課長 今後、他市町村の事例を参考に取り組みを検討したい。特に、効果的な情報の

発信に取り組んでいる市町村が多い。本市も子育て施策や移住・定住施策、創業支援など充実した支援策を実施しているのので、市外県外に向けた情報発信を強化していきたい。

高齢者の交通手段について

議員 運転免許証を返納した高齢者から「移動に便利が悪い」との声を多く聞くが、早急に何らかの対策を検討してもらいたい。

協働のまちづくり課長 公共交通利用者の減少や移動ニーズの縮小化・個別化、運転手不足など多くの問題があるが、1月に策定した杵築市地域公共交通計画を踏まえ、運転手の確保対策、運行ダイヤや運賃体系の見直し、商業施設や観光施設、医療・福祉関係の施設、駅といった主要施設との連携・連結、交通事業者との協議による新たな運行システムの導入などを検討していきたい。

その他の質問

- ・地域おこし協力隊の現状と定住支援の拡充について
- ・書店の誘致について
- ・災害から命を守ることについて



KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



さかい けんた
酒井 健太議員

杵築の今後について

議員 魅力あるまちづくりに取り組むべき。何か一つに突き抜けたそんな面白いまちづくりこそ、杵築市には必要である。どうせやるなら何か一つで日本一を目指してほしい。そんな独自の自治体戦略はないか。

健康長寿あんしん課長 杵築市では健康寿命日本一をめざしたい。乳幼児期から高齢期、全てのライフステージにおいて生活習慣病予防のための健康づくりが必要であると考え。これまでの健康づくりの取り組みに加えて、更に新たな取り組みを取り入れることで、健康寿命日本一をめざしていきたい。

議員 健康寿命日本一はよその自治体でも目指しているところがあり、負けないよう本腰を入れて取り組む必要がある。市民一人ひとりが健康に関心を持ち、外出し動きたくなる、そんなまちづくりができれば杵築市の魅力も出てくる。医療費も減って財政にも良い影響を及ぼして

くれるであろう。では杵築市のリーダーとして、どのような理念をもって取り組んでいくのか。

市長 現状のままでは医療費と介護費の対策型の経費が今後も伸びてくる。財政がついていけなくなる可能性も高い。そうすると、教育子育て、産業振興、観光等それら全てに響いてくる。杵築市として健康寿命を伸ばすことをしなければならぬ。出かけられる、歩きたくなるウォーカブルなまちづくりというのも国交省と話をしているところ。健康、幸せな部分も含めて「健康」なまちづくりというのをやっていきたい。

議員 今のままでの杵築市ではいけない。今後必要なのは停滞ではなく変化。変化こそ進化の始まりという言葉があるように、杵築市として何か動きを見せていこう。市長をはじめ職員全体の思い切った行動を期待し、そんな姿勢を私は支持していきたい。一緒にやっていこう！

その他の質問

- ・企業誘致について
- ・学校施設の故障箇所の対応について





まなべ きみひろ
真鍋 公博議員

合併20周年に向けて

議員 平成の大合併で、大分県は58市町村が18市町村に減少した。杵築市の平成17年当時と比較した地域ごとの人口の推移は。特に杵築小学校区は。

総務課長 本年4月末では、杵築3,665人減の19,727人、山香2,944人減の5,747人、大田733人減の1,054人、市全体では26,487人で、383人の減、減少率は21.8%。杵築小学校区は、合併時8,247人が8,125人、122人の減少、率は1.5%の減。

議員 合併後でも、統一されていないモノは。

総務課長 下水道料金や消防機庫の公設化、ケーブルテレビの光ケーブル化。

議員 来年合併20年として、レガシーになるもの、20にまつわるものなどのアイデアを募集し、実行しては。

総務課長 今後、推進本部を立ち上げるとともに、市民の皆さま

まや職員からの提案を募集し、それを事業化できるか、検討していきたい。

議員 合併直後の平成18年に21項目の課題を話し合った「職員プロジェクト報告書」がある。当時の状況は。

総務課長 周辺部の住民サービスやコスト削減、農林水産業、観光振興、子育て支援、高齢者対策、環境問題や人材育成など幅広い分野で、それぞれの課題を洗い出し、改善策等の提案を行い、その後の予算化や取組みに反映された。

議員 市長の見解は。

市長 当時の職員が真剣に危機感と希望を持って取り組んだものの、ずっと宿題として、次の後輩に受け継がれてきたもの。違う発想を持った分野の人の意見を大切するということを肝に銘じながら課題解決に取り組んでいきたい。

議員 温故知新、原点回帰。



KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



ふなお はるな
船尾 はるな議員

オーガニックビレッジ宣言について

議員 国が推進しているオーガニックビレッジ宣言を杵築市でも宣言すると良いと考えるが、検討したことはあるのか。

農林水産課長 農業振興計画の中で、環境に優しい安全・安心農業の普及を図ることを掲げている。その中で有機農業者や販売業者の声を聞いていく。

議員 オーガニックビレッジ宣言を行った際の効果は。

協働のまちづくり課長 魅力的な移住先の選択肢の一つになる。

商工観光課長 日本政策金融公庫の消費者動向調査でも「健康志向」の割合は高い。国内外問わず需要はあり、高付加価値商品として販売・加工・提供でき、ふるさと納税返礼品や観光客のニーズに役立てることができる。

農林水産課長 有機食品市場も拡大傾向にあり、自然循環機能の増進、環境への負荷軽減、生物多様性の保全、地球温暖化防

止に寄与するなどSDGsにも貢献することから、市のブランド力の向上が見込まれる。

学校教育課長 オーガニックの産品が給食の食材として活用できることは、地産地消を進める上で有効である。食育においても有機農業の現状や地場産業の生産の状況などについて児童生徒へのさらなる理解の増進を図ることが期待される。

議員 オーガニックビレッジ宣言について、市長の考えは。

市長 非常に良い提言で各課長も将来性があると答弁し、方向性は間違いないと思う。土作りやJAとの兼ね合い、農家の収入はどうするかなど、先進地を参考に勉強したい。

その他の質問

- ・学校教育支援センターひまわりの給食について
- ・給食費の無償化について
- ・図書館の開館時間について
- ・消滅可能性自治体について





わたなべ ゆうじ
渡辺 雄爾議員

山香グリーンエコランドについて

議員 エコランド建設から年数が経ち、老朽化が目立つようになってきている。現在の運営状況や今後について、所有者である市の考えは。

農林水産課長 現在、令和6年度から8年度までの3年間、杵築市活性化センターを指定管理者として管理運営している。令和5年度実績として、家畜糞尿の受入れ量5,080t、バラ堆肥供給量2,487m³、小袋堆肥(15kg) 43,925袋で、バラ堆肥は肥料高騰により水田散布が増加し、小袋堆肥も大手ホームセンターの取扱店舗や全農大分への供給量が増加したことから、運営自体は黒字の状況が続いている。

議員 堆肥化処理施設の譲渡を希望する話があるが、検討してはどうか。

農林水産課長 施設建設費用の大部分に国・県の補助金を充てており、耐用年数が31年あり、期間を過ぎていないことから処

分を行う場合は国・県と協議が必要で、その結果、補助金の返還を求められることが予想される。所有者である市は、山香地域の畜産農家が利用しやすい施設として保有することが望ましいと考える。

議員 今後も市として施設職員の人材確保・育成に積極的に補助し、施設の維持管理に努めてもらいたい。

建設業の地場発注について

議員 発注状況は。

建設課長 土木、建築、水道、電気設備工事の総件数115件、金額が10億6,765万円。うち市内事業者が110件9億3,607万円。割合は件数で95.7%、金額で87.7%。

議員 杵築市における区域内に主たる事務所を有する者の定義について。

建設課長 杵築市内に営業所がある場合において、指名競争入札参加資格申請時に市内事業調書、市税完納証明、登記簿謄本を確認し、営業所の外観や地図、市税の状況から判断し、指名競争入札参加者に認定している。



KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



にのみやけんたろう
二宮健太郎議員

消滅可能性自治体について

議員 このままいけば消滅する可能性がある自治体として公表されたが。

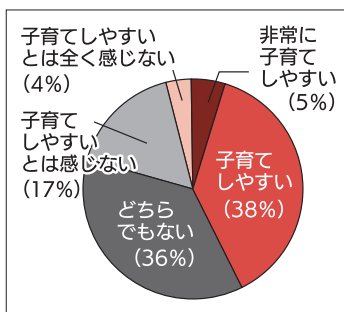
市長 住みやすく暮らしやすいことが大切。子育て政策や企業誘致が加速するようPRしていく。

議員 杵築市がやるべき人口減少対策とは。

企画財政課長 令和6年度より移住定住施策として「新婚生活に伴う家賃や引っ越し費用の補助」、子どものいる県外からの転入者に対し「マイカー取得補助」を実施。また、市内就職を希望するU・I・Jターナー、学生に向けて創業支援や企業説明等を充実させていく。

議員 アンケート回答者の21%が子育てしやすいと感じていないという結果に対して、どう思うか。

市民アンケート結果
【子育て施策】



市長 真摯に受け止めて今まで以上の対策を講じていかなければならないという認識。魅力ある杵築市とは何なのか分析し問題解決していく。

子育て政策について

議員 幼稚園、認定こども園の一時預かり事業を無償化できないか。

福祉事務所長 職員の増員による経費も必要。実施に向けては受け入れている園の意見を聞く。

議員 予算的に厳しくはない。子育て世代の声に耳を傾け早急に実施してもらいたい。

里道の管理について

議員 里道(法定外公共物)の老朽化が目立つ。国や市の所有物であれば安全対策をしっかりと講じてもらいたい。

建設課長 すべてを市が維持管理するのは困難であるため、草刈、維持補修については地域にお願いしている。危険箇所があれば建設課にて対策検討するので相談してほしい。

議員 生活道路として使用している里道も多く、地域も高齢化が進み維持管理が難しくなっている。材料補助も含めて管理体制を構築すること強く望む。





ふじもと しろ
藤本 治郎議員

ふるさと納税の活用について

議員 過去の納税額と経費を除いた利用できる金額は、

商工観光課長 令和3年度8億2,400万円（うち4億1,100万円）、令和4年度9億2,200万円（うち4億7,500万円）、令和5年度9億2,400万円（うち4億6,100万円）。

議員 高校生までの医療費が来年度は県の事業になる、経費の活用をどう考えるのか。

企画財政課長 県の子どもの医療費助成分約500万円が減額になる見込みなので、有効な事業に活用する。

議員 人口減少対策に活用していかないのか。

企画財政課長 保育料の完全無償化、小中学校の入学時の商品券配布、子どもの医療費無償化に取り組んでいる。

議員 給食費無償化にも取り組んでほしい。北海道東川町は交流会や「人生の学校」事業を開催し、東川のサポーターづくりに取り組んでいる、是非、特色のある取り組みをしてほしい。

消滅可能性自治体について

議員 過去、10年の人口の推移と人口推移予想は想定内だったのか。

企画財政課長 2014年度から

2024年度の10年で4,359人減、今後の人口減少は厳しい状況と認識している。

議員 毎年100名を超える移住者がいるというが、転出者の数は。

企画財政課長 令和3年度961人、令和4年度1,046人、令和5年度1,100人。

議員 市長の想いは。

市長 様々な策を講じてきた、特に若い女性の応援や子育てのサポート、杵築で住宅を建てやすい都市計画や企業誘致や創業支援し、魅力あるまちづくりに立ち向かう。

福祉教育の振興について

議員 福祉に関わる教育の現状はどうなっているのか。

学校教育課長 市の福祉事務所や社会福祉協議会と連携、近年はコロナで実施できていない事業もあるが、高齢者との交流や障害福祉サービス事業者とイベントに参加。

議員 不登校の生徒数の推移は。

学校教育課長 令和3年度が49人、令和4年度は58人、令和5年度は53人。

議員 この状況での教育長の想いは。
教育長 私の信念「教育は人なり」教育でもっとも大切なことは人間性、より良い人間関係をつくることのできるかどうかで成果にかかわるので、社会教育や文化・スポーツにも積極的に取り組んでいく。



KITTSUKI-GIKAI-DAYORI-KITTSUKI-GIKAI-DAYORI-KITTSUKI-GIKAI-DAYORI



かき たかし
加来 喬議員

子育て世代に魅力ある街づくりにについて

議員 杵築市の新生児等、若者の推移はどうなっているのか。

福祉事務所長 出生数は、令和元年度が147人、令和5年度が109人に。また、20〜30代の若年女性人口は、令和元年度が2,318人、令和5年度末が1,849人となっている。

議員 少子化の原因をどう考えているか。

市長 少子化の原因は経済的基盤、不安定雇用、仕事との両立の不安感、多様なライフスタイルや、結婚や家族に対する価値観の変化が未婚化、晩婚化につながっていると理解している。

議員 内閣府の「選択する未来」委員会報告は、少子化の要因として非婚化、晩婚化、晩産化の3つを上げ、低賃金、不安定雇用の男性の未婚率が高いほか、非正規雇用や育児休業が利用できない女性の未婚率が高いなど、低賃金、非

正規雇用の増加は未婚率を加速している」と報告。社会保障・人口問題基本調査では、晩婚化すると子どもの数は減り、若年男女とも仕事と家庭の両立を望んでいるが、現実には非婚就業になると感じていると報告。子育て世代に加え、未婚の男女にも寄り添った政策は。

福祉事務所長 子育て支援対策に引き続き取り組み、併せて若年層が結婚や子どもを持ちたい希望をかなえる取組を推進したい。

議員 給食費の無償化と教育費の保護者負担の軽減は。

福祉事務所長 給食費は自治体間の格差が生じないよう国が財政措置を講じる必要がある。

議員 奨学金返済助成ができないか。

福祉事務所長 中長期的に継続した財政支出を伴うため、国や県の動向を注視したい。



議決結果表

※案件名は、一部省略し掲載しています。

番号	案 件 名	採決結果
〔市長提出議案〕		
29	令和6年度杵築市一般会計補正予算（第1号）	可決
〔報告〕		
3	専決処分の承認を求めることについて （令和5年度杵築市一般会計補正予算（第11号））	承認
4	専決処分の承認を求めることについて （令和5年度杵築市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第3号））	承認
5	専決処分の承認を求めることについて （令和5年度杵築市国民健康保険特別会計補正予算（第4号））	承認
6	専決処分の承認を求めることについて （令和5年度杵築市介護保険特別会計補正予算（第4号））	承認
7	専決処分の承認を求めることについて （杵築市税条例の一部を改正する条例）	承認
8	専決処分の承認を求めることについて （杵築市税特別措置条例の一部を改正する条例）	承認
9	専決処分の承認を求めることについて （杵築市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認

議案の賛否一覧表

※議案等に対して、「賛成」か「反対」の意見が分かれたものを掲載しています。

議案 番号	議 案 等 名	結果	表決数 賛成：反対	議員名（議席番号順）																	
				1 真鍋 公博	2 酒井 健太	3 船尾 はるな	4 多田 忍	5 工藤 壮一郎	6 坂本 哲知	7 阿部 素也	8 田原 祐二	9 泥谷 修	10 田中 正治	11 二宮 健太郎	12 小野 義美	13 藤本 治郎	14 岩尾 育郎	15 加来 喬	16 渡辺 雄爾	17 小春 稔	18 堀 典義
報告 第9号	専決処分の承認を求めることについて （杵築市国民健康保険税条例の一部を 改正する条例）	承認	14対3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	／

○〔賛成〕 ×〔反対〕 欠〔欠席〕 一〔退席〕 議長は除く

新副議長の就任

阿部素也議員の副議長辞職に伴い、令和6年5月10日の令和6年第1回臨時会において、新副議長に真鍋公博議員が選出されました。

副議長就任のあいさつ



副議長
真鍋 公博

平素より杵築市議会に対し、ご理解、ご支援を賜り心から感謝申し上げます。

5月10日に開催されました市議会臨時会にて議員各位のご推挙により副議長に就任することとなりました。微力ではありますが、議長をサポートしてスムーズな議会運営が行われるよう努めてまいります。
体調を崩されませんようご自愛ください。

杵築市議会の議員定数・報酬に関する市民アンケートについて (調査ご協力をお願い)



杵築市議会では、令和 5 年 4 月の議員選挙において無投票となった結果を重く受けとめ、議員定数及び報酬、女性や若者の参画などについて調査・研究を行っているところです。

この市民アンケート調査は、議員定数及び報酬に関して、18 歳以上の市民の皆様の率直なご意見をお聞きし、今後の議論に活用していくために実施するものです。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、回答にご協力をお願いいたします。

【参考資料】 合併後の議員定数・報酬の推移と県内他市町の状況

1 杵築市の現況

- ・人口 **26,528 人** (令和 6 年 3 月 31 日現在)
- ・有権者数 **23,118 人** (令和 6 年 3 月 1 日現在)

2 議員定数の推移

- ・平成 17 年 10 月合併時 **46 人** (合併特例・1 市 1 町 1 村の全議員)
- ・平成 19 年 4 月から **22 人**
- ・平成 23 年 4 月から **20 人**
- ・平成 27 年 4 月から **18 人**

3 議員報酬月額推移

- ・平成 17 年 10 月合併時 合併前の各市町村の報酬額を継続
 - 旧杵築市 **361,000 円**
 - 旧山香町 **270,000 円**
 - 旧大田村 **245,000 円**
- ・平成 19 年 4 月から **340,000 円**

4 県内類似市町の議員定数・報酬額 (令和 6 年 3 月末現在)

市町名	人口	議員定数	議員報酬月額
国東市	25,486 人	18 人	320,000 円
日出町	27,897 人	16 人	322,000 円
豊後高田市	21,804 人	16 人	390,000 円 R6.4.1 から増額
由布市	33,531 人	18 人	330,000 円
臼杵市	33,900 人	18 人	340,000 円
津久見市	15,234 人	12 人	325,000 円
豊後大野市	32,452 人	18 人 次期から 16 人	340,000 円 増額検討中
竹田市	19,138 人	16 人 次期から 14 人	340,000 円

杵築市議会の議員定数・報酬に関する市民アンケート

それぞれの質問の答えに、○印や数字を記載してください。

質問 1 あなたの年齢を教えてください。（ ） 歳代

質問 2 あなたのお住まいの地域を教えてください。

A 杵築地域 B 山香地域 C 大田地域

質問 3 現在の杵築市の議員定数は 18 人です。あなたはどの程度が適当だと思いますか。

- A もっと多いほうがよい → () 人
B 現状のまま (18 人) がよい
C もっと少ないほうがよい → () 人
D わからない

質問 4 現在の杵築市の議員報酬月額が 34 万円です。あなたにとって「立候補したい」または「適任者に立候補を促したい」と思えるような報酬額はどの程度が適当だと思いますか。

- A もっと多いほうがよい → () 万円
B 現状のまま (34 万円) がよい
C もっと少ないほうがよい → () 万円
D わからない

質問 5 議員定数・報酬に関すること、また議会に対するご意見やご提言がございましたらご記入ください。

ご協力どうもありがとうございました。

このアンケートは

令和 6 年 9 月 10 日 (火) までに、次のいずれかの方法によりご回答ください。

◆ このページを切り取って提出する場合

- ① 各庁舎担当窓口のいずれかへ直接持ち込み
(担当窓口 杵築市役所本庁舎 4 階議会事務局、
山香庁舎山香振興課、大田庁舎大田振興課)
② FAX 送信 (FAX 番号 : 0978-62-3923)

◆ 専用サイトから回答する場合

右記 QR コード
を読み込み



産業建設常任委員会視察研修

東京都 小平市・千代田区、千葉県香取市に視察県研修に行ってきました。



東京都薬用植物園



株式会社龍角散の本社を訪問



千葉県香取市



千葉県香取市（町並み観光案内ガイド）

7月3日から5日にかけて、産業建設常任委員会が視察研修を行いました。

東京都小平市の東京都薬用植物園では、山香地域のキキョウ栽培を指導する山上勉総括上責任者がスライドを活用して薬用植物の概要を、その後園内を回りながら、多くの植物について、ユーモアあふれる説明をしていただきました。

また、東京都千代田区の株式会社龍角散の本社を訪問し、秋田県八峰町や美郷町の栽培状況等の情報を交換し、併せて企業版ふるさと納税の継続や工場進出の陳情をしました。

千葉県香取市では、「重要伝統的建造物群保存地区（重伝建）の観光活用について」をテーマに、意見交換を行い、熱暑の中、観光ガイドの方に、伊能忠敬旧宅をはじめ、案内していただきました。

これら視察研修の経験を基に、市へいろいろな提言を行ってまいります。

広報広聴委員会視察

鹿児島県 日置市・始良市に視察研修に行ってきました。



視察先

日置市議会 広報委員会 / 広聴委員会

委員会構成

委員数 9 名 任期 2 年

日置市議会は、広報委員会（9人）と広聴委員会（8人）に分かれて活動。2年おきに各委員が入れ替わるかたちで運用していました。また、日置市は「ひおき市議会だより作成マニュアル」が作成されており、運用方法を詳しく説明を受けました。「作成マニュアル」は杵築市も検討すべき案件と感じました。

視察先

始良市議会 広報広聴常任委員会

委員会構成

委員数 10 人以内 任期 2 年



始良市議会は、常任委員会として運用。始良市は、議会だよりのページ数削減に取り組んでいます。議員の一般質問の文章もわかりやすく簡素化され、写真を入れることでイメージしやすい構成になっていました。一般質問の内容を詳しく知りたい方にはQRコードからの動画を推奨していました。

	日置市	始良市	杵築市
人口(令和6年7月)	46,348 人	78,175 人	26,422 人
議会だより発行回数	4 回 / 年	4 回 / 年(臨時号発行もあり)	4 回 / 年
議会だより発行部数	21,000 部	28,000 部	11500 部
印刷	A4 版フルカラー 16 ページか 20 ページ	A4 版フルカラー 12 ページ	A4 版 2 色 (表紙裏表紙のみフルカラー) 12 ページか 16 ページ

昨年度より、私たち広報広聴委員会は市民の皆さまに見やすい読みやすい議会だよりを作るため、先進地に出向いて活動や運用方法を確認してきました。その中には杵築市に必要な事案もあり、現在、委員会内で検討しています。これからも、市民の方に見てもらえる議会だよりにしていくために、委員全員でがんばっていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



第19回 議員研修会を開催

6月5日、第2回定例会(開会日)終了後、山香温泉風の郷の指定管理者である、一般社団法人やまが地域創生機構理事長 江藤稔明氏をお招きし、リニューアルオープン後の風の郷の現状や今後の展望について説明を受けました。

議員勤続表彰

全国市議会議長会第100回定期総会(5月22日開催)において、加来喬議員が在職20年、小野義美議員と二宮健太郎議員が在職10年の勤続表彰を受けました。



加来 喬 議員

初当選年月・当選回数
平成15年10月・6回

議員経歴
市議会副議長

現在

- ・厚生文教常任委員会委員長
- ・議会活性化委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会議員

小野 義美 議員

初当選年月・当選回数
平成25年10月・4回

議員経歴

市議会副議長

現在

- ・産業建設常任委員会委員長
- ・議会活性化委員会委員
- ・別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会副議長

二宮 健太郎 議員

初当選年月・当選回数
平成25年10月・4回

議員経歴

市議会副議長

現在

- ・厚生文教常任委員会委員
- ・広報広聴委員会委員
- ・杵築速見環境浄化組合議会副議長
- ・杵築市監査委員(議会選出)

令和6年 第3回定例会日程(案)

※正式な日程は議会運営委員会で決定します。

8月30日(金)	開会
9月4日(水)	一般質問
9月5日(木)	一般質問
9月6日(金)	一般質問(予備日)
9月10日(火)	決算特別委員会
9月11日(水)	決算特別委員会

9月12日(木)	決算特別委員会
9月17日(火)	産業建設常任委員会
9月18日(水)	厚生文教常任委員会
9月19日(木)	総務常任委員会
9月25日(水)	閉会

一般質問の再放送は、一般質問が行われた週の土日に放映される予定です。

編集後記



今年の夏は特に暑く感じる。暑さのせいかな人口減少のせいかな、杵築のまちなかにおいても外を歩く人は少ない。

今年度初頭、わがまちにおいては消滅可能性自治体として取り上げられた。驚いたのと同時に消滅という言葉を使って、愛するこのまちの人々に失望を抱かせるような、そんな情報に腹が立ったのを覚えている。議員になつて一年と少し。地域住民をはじめ多くの方から教えられる事ばかりで、まだまだ未熟ではあるが、消滅という言葉を一ひっくり返す程のまちづくりをしてやろうとそのとき心に決めたのであった。

とはいえ真のまちづくりとは簡単なことではない。何か行動を起こせば、上手くいかず挫折することもある。時に批判されることもあるかもしれない。それでも杵築の未来のために、杵築の大人として何か行動するべきなのだ。消滅の可能性を微塵も感じさせないような、そんな魅力や個性の溢れるまちに生まれ変わらせたいし、そんなまちで大切な人たちが生活していききたい。「生まれ変わるのなら生きていくうちに」である。

この議会だよりには議員の思いや行動が詰まっている。いつも読んでいただき感謝ばかりであるが、まだまだ目を通す方が少ないのも現状。家族や友人お仲間との話のネタとして、是非とも本誌を活用していただけたら幸いである。

広報広聴委員会 酒井 健太